

先日の大雨が信じられないほど梅雨あけを思わせる猛暑が続いています。

そのような中、校長室にうれしいお知らせがありました。直方歳時館で9月7

日(土)8日(日)に実施するイベントのため、  
課題研究調理班では「筑豊スイーツ」の試作に

励んでいます。その「オリジナルスイーツ」の試食をとということで、  
リーダーの生活デザイン科3年飯野佑香さんにご指導いただいている  
野田藍先生が訪ねてきてくれました。

新緑をイメージしたガトーヤーン、お庭  
の敷石を再現したごま入りみたらし団  
子、筑豊の石炭を模したアップルパイ、そ

して清涼感いっぱいの炭酸レモンゼリーとアイディアを形にできる調理技  
術の高さに感心し、一足先に大変美味しくいただきせてもらいました。当日

は、歳時館のお庭を見ながら皆様に「筑豊スイーツ」を喜んでいただけるよう、おもてなしも含め研究成  
果を発揮してくれることを願っています。

3年生総合ビジネス科・ビジネス情報科では、「起業家育成プログラム」の一環で、地元企業経営者に

経営の実際をお聞きできる貴重な機会があります。7月3  
日(水)は、株式会社石橋製作所 代表取締役社長 石橋  
和彦様に『ビジネスと企業(起業)』と題してご講演いた  
だきました。石橋製作所は「今日よりもっとかつてなくまぶ  
しい明日を」(RE-SHAPING TOMORROW BRIGHTER  
EVER)を企業パーパス(企業の目指す最終ゴール、それ  
に向けた志)とされています。そしてこの数年でビジネスミ  
ッションを「世の中のタイヘンに挑む!」とし、温暖化気  
候変動、社会インフラの老朽化、生産設備老朽化、天災や

災害など社会課題の解決を新たなビジネスチャンスとし果敢に取り組まれてきました。「頼まれていない  
仕事」を追求するという大胆な行動が可能だったのは、ビジネスミッションが存在し、会社の究極の存在  
意義であるパーパスが明確であったからと確信されています。高い視座から自社のビジネスを見直すこ  
とで、ギアボックスというモノを作って売るという発想から決して生まれることのない、疑問・質問・課  
題認識・提案が起こり、顧客との信頼関係やさらには新規事業・イノベーションに派生していく好循環が  
生まれていくことを多くの事例を通して説得力あるお話をいただきました。また、「皆の物心両面の幸せをつくる真の当事者は、実は  
会社ではなく、自分自身を含めた私たちである」という石橋社長の  
思いで、今回、経営者として取り組まれてきた貴重な行動指針など  
を惜しみなく教えていただくことができたのです。すばらしい会社  
がこの筑豊の地にあることに感謝し誇りに思います。



**ALL CHIKUHOU**  
**~WELL-BEING~**

生徒も教員も家族も地域も

筑豊高校にかかわる

すべての人を幸せに🍀